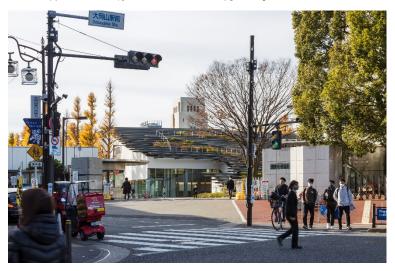
TakiPlaza について

【Taki Plaza とは?】



Taki Plaza は日本人学生と留学生の交流の場となり、絆を深め、世界に羽ばたいて行ってほしいという願いから、本学卒業生で「ぐるなび」の創業者でもある滝久雄さんの寄付を受け、隈研吾さんの設計により誕生しました。

設計コンセプトは、大岡山の丘続きの地形を生かし、正門から本館の時計台が見えるように、大地と一体となった緑の丘のような建物です。



Taki Plaza 施設内に関しては、学生にヒアリングを行った結果や、海外視察で得た海外大学の例を参考にして、学生主体の「つながる」場を実現するために、手続きや支援の場・勉強の場・活動の場・情報の場 4 つを集結し、学生たちが気軽に立ち寄り、国際交流を行える場所となっております。

【パブリックアート】



漫画「AKIRA」で有名な大友克洋さんが何度も東工大を訪れて感じたインスピレーションをもとに製作された陶板レリーフ(浮彫彫刻)です。タイトルは「Elements of Future」。世界を構成する五大元素に新しい元素である学生・都市・化学・IT などを加えて、あえて真ん中を作らないこと、次の世代が作っていってほしいというメッセージが込められています。

製作工程は、まず原画を粘土で立体に作り上げ、切り分け、素焼きにしてから色付けして本焼き し、この場で組み立てました。熱海の工房で2年掛かりで製作されました。

(世界を構成する五大元素一地・水・火・風・空)

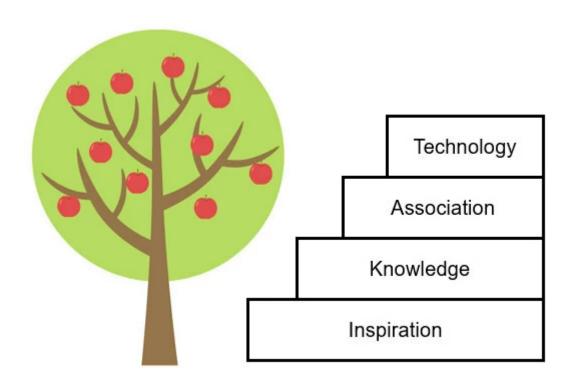
【フロアコンセプト】

建物は地下2階、地上2階の4階建てになります。

フロアコンセプトは、有志の学生団体である「Taki Plaza Gardener」が各階の機能を"一つの木"に例えて考案しました。

- ・地下 2 階「根」Inspiration 仲間との交流を通じて、「根」より原動力となる"ひらめき"を得る 場所。
- ・地下 1 階は「幹」Knowledge 知識を蓄積し、世界に羽ばたくための「幹」を強化する場所。
- ・1 階は「枝」Association 学外の方と交流できる唯一の場所となり、外の世界へとつながり「枝」を広げる場所。
- ・2 階は「果実」Technology 志を持った学生が集まり、学生が創るアイデア(技術)が「実」を結ぶ場所。

これらのコンセプトの頭文字を並べると、「TAKII」となります。



【地下2階】

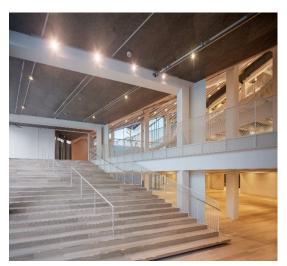
※外階段から入るときは「入館証をタッチ」して入ってください。





・イベントスペース:9面マルチモニターと二つのプロジェクターを使って,最大200人のイベントが可能になります。9面マルチモニターの前の階段に座って映画を観るイベントなどもできます。階段のイメージはローマのスペイン階段です。





・石灰岩:中国の石灰岩で約4億年前のものです。



・「Taki Plaza Gardenerで」: フロアコンセプトを考案した有志の学生団体が集まる場所で、Taki Plaza が使いやすい場になるよう日々活動しています。





Taki Plaza Gardener

・キッチンスペース:コロナが収束すれば借りることができ、IHを使って料理が作れます。



・ワークショップスペース:約80 席収容の一部屋として、間仕切りをして二部屋としても利用できます。



・ピアノ:ストリートピアノのように誰で好きな時に使えます。



【地下1階】

- ・色々なタイプの本が置いてあります。
- ・様々な国の留学情報が置いてあります。



・図書館:ここから直接図書館に行き来することができます。



・カウンター:学生支援と留学生支援・留学支援などの生活に関わる支援の窓口となります。



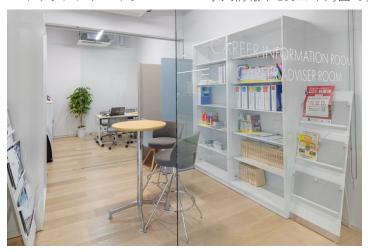
・学生相談スペース: 先輩ボランティアが新入生の様々な疑問に答えます。 履修, サークルなど。 また、階段下棚には就職情報が置いてあります。



・グローバルラウンジ:海外放送を観たり海外雑誌を読んだりすることができます。留学生にとっては母国の情報を得る場所となります。



・キャリアアドバイザールーム:求人情報や zoom や対面で就職相談ができます。



【1階】

・カウンター: 学生証や授業に関すること, 奨学金など, 入学してすぐに必要な手続きが一か所でできるようになっています。



・カフェ:学外の方もカフェ内やテラス席、テイクアウトでご利用いただけます。



・支援者(寄付)のウッドバー:寄付をしてくださった方のお名前とメッセージです。



【2階】

※外階段から入るときは「入館証をタッチ」して入ってください。

・外階段から入る2階のテラスは、景色が良く、風も通って、とても気持ちが良いです。





・小上がり:琉球畳の小上がりは、建築学系の学生がデザインしたもので、日本人学生と留学生が気軽に日本文化に触れながらディスカッションができるスペースです。



・カウンター:地下2階まで見渡せる吹き抜けの空間で勉強ができます。



・Attic Studio:学生のアイデアを形にするものつくりスペースです。



· Attic Office: 学生が運営・管理を行って借りられるスペースです。



・大机エリア:コワーキングスペース



・Attic Lab: 学生主体のコワーキングスペースで、起業したい、自分のアイデアを実現したい、ネットワークを広げたい、といった目的を持つ東工大生が集まる場です。

※Atticとは、英語で屋根裏部屋と言う意味。